学校番号	103

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	3 単位	年次	3 年次
使用教科書	「古典Ｂ　古文編　漢文編　改訂版」　（三省堂）						
副教材等	「センター試験国語過去問題　古典　平成 26～31 年」（尚文出版） 「体系古典文法」（数研出版）　「新明説漢文」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これまで学んできたことを土台にして自分で繰り返し演習することにより、実践力がつき進路実現につながります。古典で学ぶべき基本事項は２年までの授業で終了しています。３年ではその土台の確認と演習が中心になります。授業を聞くだけの受け身の態度では何も身につきません。自分で課題を見つけ、積極的に取り組んでください。

2　学習の到達目標

・古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする。
・日本文化の根底を成す古典としての古文・漢文を読み解く能力を養うとともに、大学入試に必要な作品の中に描かれている当時の価値観を理解する。その上で、センター試験、国公立大学２次試験の記述試験、難関私学の個別試験に対応できる解答力を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察し、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとする。			古典を読んで、内容及び当時の価値観や感情を、構成や展開に即して的確に捉えようとする。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	定期考査 小テスト 課題など			定期考査 小テスト 課題など	定期考査 小テスト 課題など

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	紫式部日記	・登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。 ・時代背景や古文常識、作家たちについて知ることを通して、中古の文学について理解を深める。	○			○	○	abc:紫式部、清少納言、和泉式部等に関心を持ち、協力してワークシートを作成できている。 de:時代背景や古文常識を踏まえて文章を読解できている。	ワークシート 定期考査 小テスト 課題など
1	何必日利	・性善説を説く孟子の論を読み解く。 ・訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。	○			○	○	a:漢文を訓読しながら、積極的に内容を理解しようとしている。 d:性善説の論拠を理解している。 e:反語・二重否定・再読文字を理解している。	定期考査 小テスト 課題など
2	無名草子	・清少納言と紫式部に関する物語評論を読んで、当時二人がどのように評価されているかを読み取る。	○			○	○	abc:これまでに学習した知識を用いて文章をとらえ、発表できる。 d:本文を正確に現代語訳し、当時の文学作品の評価や考え方を読み取る。 e:古文単語・文法事項等を理解している。	発表 定期考査 小テスト 課題など
2・3	問題演習	・副教材を用いて問題演習に取り組む。 ・教科書で学んだことを土台にして大学入試に対応した解答力を磨く。	○			○	○	a:重要語句を調べている。 d:　設問に対して適切に解答する。 e:古文単語・文法事項、課題文の出典や文学史上の意味合いなどを理解している。	定期考査 小テスト 課題など

4　学習の活動

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。